

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年10月27日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL <https://www.fanuc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・SR部長 (氏名) 行貞 直樹 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	416,128	18.4	94,671	0.8	115,547	7.2	84,214	7.1
2022年3月期第2四半期	351,490	52.5	93,922	190.6	107,822	182.1	78,649	179.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 139,403百万円(60.5%) 2022年3月期第2四半期 86,859百万円(152.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	440.02	—
2022年3月期第2四半期	410.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,866,606	1,631,187	86.6
2022年3月期	1,783,964	1,549,879	86.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,617,079百万円 2022年3月期 1,535,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	246.02	—	239.68	485.70
2023年3月期	—	264.02			
2023年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2023年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	805,700	9.9	181,700	△ 0.8	217,000	1.7	159,500	2.7	833.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	201,909,397株	2022年3月期	201,909,397株
2023年3月期2Q	10,603,015株	2022年3月期	10,089,875株
2023年3月期2Q	191,384,691株	2022年3月期2Q	191,813,603株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。業績予想につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想に関する説明」をご覧ください。なお、2023年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
3. 注記事項に関する情報	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から9月30日まで）における当社グループを取り巻く状況につきましては、自動車関連をはじめとして製造業全般において設備投資が活発に行われました。しかし、サプライチェーンにおける半導体等の部品の不足による生産活動への影響やインフレの加速、急激な為替変動等、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ、お客様への商品の供給とサービス活動の継続に努めました。特に半導体をはじめとする部品不足については、代替品の採用、設計変更等あらゆる対策を行い、影響を最小限にとどめるべく、会社の総力を挙げて対処しました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が4,161億28百万円（前年同期比18.4%増）、経常利益が1,155億47百万円（前年同期比7.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が842億14百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

部門別の事業の概況につきましては、次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、中国でロックダウン等のゼロコロナ政策の影響はありましたが、高いレベルで推移しました。また、欧米、アジア、日本も引き続き堅調に推移したことから、当社のCNCシステムの売上は増加しました。FA部門の売上高は1,294億50百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

ロボット部門については、中国でEV、IT関連向けを中心に売上が好調に推移し、米国でも一般産業向けおよびEV関連の需要を取り込んだ自動車産業向けの売上が堅調で、欧州でも一般産業向けの売上が好調に推移しました。国内では売上は横ばいでした。これらの結果、ロボット部門の売上高は1,616億41百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）では、好調だったパソコン、タブレット、スマートフォン市場からの需要が一巡し、売上が減少しました。ロボショット（電動射出成形機）では、IT関連、医療市場向けの需要が堅調に推移し、引き続き高水準の売上でした。ロボカット（ワイヤ放電加工機）では、IT関連、自動車部品市場向けの需要が好調に推移し、売上が増加しました。これらの結果、ロボマシン部門の売上高は711億10百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

サービス部門については、「サービスファースト」をキーワードに、サービス体制の強化、IT技術の積極的な導入による効率アップ等を進めています。サービス部門の売上高は539億27百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比 826 億 42 百万円増の 1 兆 8,666 億 6 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 13 億 34 百万円増の 2,354 億 19 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 813 億 8 百万円増の 1 兆 6,311 億 87 百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年度末比 271 億 31 百万円減の 5,475 億 24 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比 289 億 31 百万円減の 461 億 8 百万円であり、これは主に棚卸資産の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比 101 億 38 百万円増の 260 億 93 百万円であり、これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比 187 億 59 百万円増の 594 億 63 百万円であり、これは主に自己株式の取得による支出が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

ロボットの世界的に旺盛な需要が継続しているものの、中国において経済の先行き不透明感から当面 FA、ロボマシンの需要の減速が見込まれるため、2023年3月期通期の業績予想を以下のとおりとします。

通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (2022年7月27日) 【A】	今回公表予想 【B】	増減率 【(B-A) / A】
売上高	825,700	805,700	▲2.4%
営業利益	198,400	181,700	▲8.4%
経常利益	230,100	217,000	▲5.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	166,900	159,500	▲4.4%

注) 2022年10月から2023年3月までの期間における為替レートは、平均130円/ドル、130円/ユーロを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,515	438,739
受取手形	25,707	26,110
売掛金	124,488	130,593
有価証券	177,700	137,200
商品及び製品	114,228	153,775
仕掛品	80,006	89,113
原材料及び貯蔵品	55,330	73,952
その他	14,996	21,599
貸倒引当金	△1,024	△1,184
流動資産合計	1,014,946	1,069,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	326,459	325,809
土地	155,369	156,777
その他（純額）	96,305	103,663
有形固定資産合計	578,133	586,249
無形固定資産	8,933	8,959
投資その他の資産		
投資有価証券	135,709	152,302
その他	46,668	49,624
貸倒引当金	△425	△425
投資その他の資産合計	181,952	201,501
固定資産合計	769,018	796,709
資産合計	1,783,964	1,866,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,473	56,656
未払法人税等	37,572	26,808
アフターサービス引当金	10,739	11,588
その他	79,818	81,501
流動負債合計	177,602	176,553
固定負債		
退職給付に係る負債	51,693	53,015
その他	4,790	5,851
固定負債合計	56,483	58,866
負債合計	234,085	235,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,082	96,263
利益剰余金	1,441,559	1,479,797
自己株式	△105,950	△116,022
株主資本合計	1,500,705	1,529,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,204	12,737
為替換算調整勘定	36,087	91,185
退職給付に係る調整累計額	△16,187	△15,895
その他の包括利益累計額合計	35,104	88,027
非支配株主持分	14,070	14,108
純資産合計	1,549,879	1,631,187
負債純資産合計	1,783,964	1,866,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	351,490	416,128
売上原価	205,397	255,007
売上総利益	146,093	161,121
販売費及び一般管理費	52,171	66,450
営業利益	93,922	94,671
営業外収益		
受取利息	908	1,734
受取配当金	725	1,482
持分法による投資利益	10,445	15,816
雑収入	2,326	2,708
営業外収益合計	14,404	21,740
営業外費用		
固定資産撤去費用	171	329
固定資産除売却損	35	188
雑支出	298	347
営業外費用合計	504	864
経常利益	107,822	115,547
特別損失		
在外子会社における送金詐欺損失	538	—
特別損失合計	538	—
税金等調整前四半期純利益	107,284	115,547
法人税、住民税及び事業税	29,733	33,739
法人税等調整額	△2,776	△4,240
法人税等合計	26,957	29,499
四半期純利益	80,327	86,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,678	1,834
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,649	84,214

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	80,327	86,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△658	△2,467
為替換算調整勘定	△200	41,706
退職給付に係る調整額	1,264	292
持分法適用会社に対する持分相当額	6,126	13,824
その他の包括利益合計	6,532	53,355
四半期包括利益	86,859	139,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,208	137,124
非支配株主に係る四半期包括利益	1,651	2,279

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	107,284	115,547
減価償却費	22,833	24,007
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	96
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	596	777
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	1,277	915
受取利息及び受取配当金	△1,632	△3,216
持分法による投資損益 (△は益)	△10,445	△15,816
売上債権の増減額 (△は増加)	12,953	4,064
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△29,959	△49,383
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,055	3,894
その他	△3,342	△6,277
小計	93,495	74,608
利息及び配当金の受取額	6,578	14,814
法人税等の支払額	△25,724	△44,440
その他	690	1,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,039	46,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,327	△1,164
定期預金の払戻による収入	5,969	—
有形固定資産の取得による支出	△11,413	△23,128
その他	△1,184	△1,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,955	△26,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△137	△10,252
配当金の支払額	△39,540	△46,015
その他	△1,027	△3,196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,704	△59,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,026	12,317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,354	△27,131
現金及び現金同等物の期首残高	577,919	574,655
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,273	547,524

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。